

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	工学部・分子素材工学科
学年(出発時)	3年
大学名	ハイデルベルク大学
国	ドイツ
留学期間	2014年 3月 3日 ~ 2015年 1月 25日
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
8:00	
9:00	
10:00	授業
11:00	授業
12:00	授業
13:00	学食にて昼食
14:00	図書館で自習
15:00	自習
16:00	友人との会話練習
17:00	自習
18:00	自習
19:00	夕食
20:00	自習
21:00	帰宅
22:00	
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
ドイツ語総合	20		ドイツ語	口頭試験、筆記試験、リスニング試験等
有機化学	2		ドイツ語	レクチャー、筆記試験
生物物理化学	2		英語	レクチャー、筆記試験
英語	2		英語	リーディングと文章についての議論

大学のサポート	
チューターの有無	有り
チューターのサポート内容	手続き等の手伝い
語学コースの有無	有り
コース名、料金、期間等	1学期間通じて有り・交換留学生なら無料

生活	
住居のタイプ	アパート
住居の名前	Studentenwohnheim696
部屋タイプ	ルームシェア
ルームメイト(国籍)	ドイツ人
室内設備	机、ベッド、本棚、クローゼット
共用施設	キッチン設備完備、ユニットバス、
インターネット設備	有線
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	バス、20分
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	学生ビザ
Visa申請先	外国人局
Visa取得にかかった日数	1週間
Visa取得にかかった費用	50ユーロ
Visa取得方法、提出書類等	パスポートのコピー、住民票のコピー、収入証明、写真、学校の入学証明書のコピー
留学先大学の最寄り空港までの経路	バス
渡航費用	15万円
ピックアップサービスの有無	無し

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	留年
有る場合、その理由	単位取得が十分でなかったため
就職活動開始時期	2015年3月
帰国後の進路	就職

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1ユーロ＝140円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	88ユーロ/月
学費(教科書代や語学コース授業料等)	60ユーロ/半年
宿舍費(月額)	199,5ユーロ
光熱費(月額)	0
食費(月額)	120ユーロ
その他	1400ユーロ
留学期間中にかかった費用の合計	6000ユーロ

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

私は留学当初、ドイツ語を全く勉強したことがない状態でドイツに来ました。初めはもちろんドイツ語での会話は全くできず、ドイツ語の授業もドイツ語で行われるため9割は理解ができませんでした。当初のノートを振り返ってみてみると半分以上がカタカナで書いてありました。先生の話している単語をとりあえずカタカナで書いていたのです。そして授業後に友人にそのカタカナの単語の意味を聞き、正しいスペルを書いてもらい、覚えることから始めていました。はじめの1ヶ月はコミュニケーションが上手く取れず自分にイライラすることも多々ありました。自分で作った単語帳と電子辞書が手放せず、気になった言葉はすぐに聞き、メモを取りました。そして間違っているのもいいので、とりあえず話してみました。そうしてドイツ語を体に染み込ませ半年後には日常会話で苦勞することがほとんどなくなりました。

ハイデルベルクという町は留学生に優しい街であったため、言葉が堪能でないといわると、ゆっくり話して下さる方々が多く言葉に不安がある学生でも不自由なく暮らせる街でした。また学生は学習意欲が非常に高く、刺激を受ける毎日でした。童話のウサギとカメに出てくるうさぎが、亀よりも努力しているような人ばかりでした。私自身、大学4年間分の学習量を1年間でしたような感覚でした。受験生に戻ったような気分でした。それでも互いに高めあえる仲間と毎日勉強できたことはとても貴重な経験で、刺激的で毎日が充実していました。

また平日は真夜中まで勉強に明け暮れる学生ですが週末は皆外に出てBBQやパーティをしていました。国籍や出身地域の違いによって様々な習慣や考え方の違いがあり、常に新しいことを知ることができる日々でした。ハイデルベルクには世界各国の大学生が集まっており、世界情勢や各国の情報を知り議論し、そして人脈形成の場所にはもってこいの場所でした。テレビで話題になっているような場所出身の人がいたり、戦争状態の国同士の人が仲良くしていたり数をあげたらキリがありません。そうした人たちとのつながりは私にとって学習以上に価値のあるものでした。

毎日がとても刺激的で自分を高めることが出来る場所に留学できたことは私にとってとても貴重な経験になりました。

今後留学する人へのアドバイス

目的を持って留学することが大切だと思っています。ただ留学している人は、しだいに日本人だけで群れて日本語だけで会話していました。たまには大切かもしれませんが、必要以上に群れたりしないように常に何か目標を持って取り組めるようにしていくことが大切だと思います。またどんな文化や習慣も受け入れられる心の余裕が必要です。日本では考えられないようなことも多々起こるので、その度に怒ってはいけません。考えられない出来事を話のネタにできるくらいの気持ちを持っていて欲しいと思います。

報告書記入日

2015年2月21日



ミュンヘン



ベルサイユ宮殿の庭





ぶどう畑



パブリックビューイング

ヴェネツィア



イノシュバンシュタイン城

